

オリザ油化(株)、「オリザギャバ®(米由来 GABA)」の機能性表示食品申請における  
「睡眠」機能および「肌弾力」機能のシステマティックレビュー完了

オリザ油化株式会社（愛知県一宮市）は、食品用の米胚芽由来  $\gamma$ -アミノ酪酸（GABA）製品である「オリザギャバ®」について、GABA を関与成分とした機能性表示食品への受理実績を重ねてきている。これまでに「精神的ストレスの軽減（リラックス）作用」および「高めの血圧低下作用」をヘルスクレームとしたシステマティックレビュー（SR）による届出サポートを行ってきたが、この度新たに「睡眠の質改善作用」および「肌の弾力維持作用」の SR 作業を完了したことを発表した。

「睡眠の質改善」では、GABA の経口摂取が日常生活の睡眠の質に及ぼす影響について文献調査を行った。調査の結果、SR に採用された臨床論文より、健常な範囲で睡眠に問題を感じている健康な成人が GABA を 100mg/日 摂取することによって、睡眠時脳波が改善することが示された。この結果より、1日あたり 100mg の GABA の摂取によって以下のヘルスクレームが表示可能であると考えられる。「本品には GABA が含まれます。GABA には睡眠の質（眠りの深さ）を向上させる機能があることが報告されています。」

一方、「肌の弾力維持」においては、GABA の経口摂取が肌の弾力維持に及ぼす影響について文献調査を行った結果、肌荒れを自覚している 30~50 歳の成人女性が GABA を 1日あたり 100mg 摂取することで肌弾力の指標である「総粘弾性（R2）」、「正味の弾性（R5）」および「戻り率（R7）」がプラセボに対して有意に高い値を示すことがわかった。尚、総粘弾性（R2）とは 10 秒間で最大まで引き上げられた皮膚がどれだけ元の状態にまで戻れるかを示した値、正味の弾性（R5）とはプローブに吸い込まれた直後に引き上がる皮膚の高さと吸い込みを開放した直後に戻る皮膚の高さの比率、戻り率（R7）とは引き上げた皮膚を離した直後に戻る皮膚の高さが 10 秒間で最大まで引きあがった皮膚の長さに対してどれだけ割合かを示した値である。また、これらのパラメーターは値が高いほど弾力が高いことを表す。

この結果より、1日あたり 100mg の GABA の摂取によって以下のヘルスクレームが表示可能であると考えられる。「本品には GABA が含まれます。GABA には肌の弾力性の低下を抑え、肌の健康に役立つ機能があることが報告されています。」

今回の 2 つの SR 作業完了を以て、同社がサポートする GABA での機能性表示食品申

請では「精神的ストレス軽減」、「高めの血圧低下」、「疲労感の軽減」、「睡眠の質改善」および「肌の弾力維持」の 5 つのヘルスクレームでの届出サポートが可能となった。同社は、米胚芽由来 GABA のパイオニアとして、農林水産省との共同研究により 1996 年に世界で初めて米由来 GABA の大量生産に成功し、上市、特許も取得している。それ以来 20 年以上に渡り国内外の数多くの食品メーカーにオリザギャバ®を提供している。日本を代表する米由来の天然素材である「オリザギャバ®」を使った最終製品で、ともに機能性表示食品の届出を目指す企業をこのニュースリリースを通して広く募集している。